

生徒会新聞

作成

生徒会一同

令和2年 二号

6月11日(木)

挿絵 大園桃子

入学セレモニーの挨拶について



入学セレモニーにて、新入生の挨拶としての抱負を熱く語ってくださったので、それをご紹介させていただきます。

暖かく輝かしい春を迎えた今日、私たち二百七十九名は第七十五期生としてこの石神井高校に入学することとなりました。

私たちは新型コロナウイルスの流行により、中学校卒業目前にして突然休校となり、友との時間を失いました。そして楽しみにしていた高校生活のスタートがなかなか切れず、不安な毎日を通りました。そのような状況の中で当り前の毎日がとてもありがたいものだという事に気づかされました。今なお流行が収まらない状況で入学式を中止にする学校も多くある中、本日は私たち新入生の為にこのような素晴らしい会を開いていただいたことを嬉しく思います。

私たちは今新たな一步を踏み出しました。ずっと憧れていた制服にそでを通し、大きな喜びとともにこれから始まる高校生

活への期待と不安で胸がいっぱいです。

新たな高校生活では、私たち一人一人が石神井高校の生徒の一員であることに誇りを持ち、スローガンである文武二道の両立を心がけていきます。自らが選んだ進路を更に切り拓いていくために勉強に励みます。部活動では仲間と協力し、目標達成に向けて努力していく中で、人間力を高めていきます。また体育祭や文化祭などの行事にも積極的に参加し様々なことに挑戦していきます。これから始まる高校生活では楽しいことばかりではなく、時に辛いこともあるかもしれませんが、そんな時は逆境に立ち向かってきた私たちだからこそ強い心を持ち、出会った仲間と助け合いながら乗り越えていきます。本日からお世話になります先生方、残念ながら本日お会いすることができませんでしたが先輩方、保護者の皆様、どうぞ私たち七十五期生を温かく見守ってください。先輩方が築かれた歴史と伝統を継承し、さらなる発展の為、何事にも全力で精進するとともに、色々なことに挑戦していくことを誓います。

令和二年六月三日

七十五期生新入生代表 村本愛羽

対面式について

本来は四月に、一年生と、二、三年生と対面した形での対面式が行われるはずだったのですが、残念ながら実施されませんでした。応援団有志が贈る石神井応援歌や、校歌紹介、生徒会執行部の企画した親睦を深めるゲームも、全て中止となってしまいました。そこで、本来ならば対面式で挨拶するはずだった清水里花さんの、先輩に宛てたスピーチをご紹介します。

四月に行われるはずだった対面式。けれど、新型コロナウイルスの影響で中止になり、先輩方と顔を合わせることもないまま、学校生活が始まることをとても残念に思います。しかし、この機会があったからこそ、普通の生活がどれほど幸せなものだったのか、再認識することができました。普通の生活ができることに感謝の気持ちを持ち、毎日を大切にしながら過ごしていきたいです。

これから始まる学校生活は思い描いていたものとは少し違うかもしれませんが、臨機応変に自分の目標に向かって突き進んでいきたいと思えます。二か月遅れの学校生活に楽しみや期待で胸がいっぱいになる一方で、慣れない環境になじむことができるのかなどの不安も感じています。

(裏面へ)



それでも、失敗を恐れず、何事にも全力で取り組み、今感じている不安をなくしていきたいと思っております。

石神井高校の教育目標である「チーム石神井で文武二道の両立を！」のよりに、部活動や勉強の両立を通して、様々なことを学び、自分の成長につなげていきたいと思っております。

また、仲間と切磋琢磨し、互いを高め合えるよう、日々努力していきたいです。
これから始まる学校生活で慣れないことも多く、立ち止まり悩むことがあると思います。そんな時は先生方の指導や先輩方の背中を追い、前を向いて日々前進していきたいと思えます。普通の生活に戻るのはいっつになるかわかりませんが、石神井高校の七十五期生としての自覚を持ち、毎日を大切に、日々努力して頑張ります。先生方、先輩方、迷惑をかけると思いませんが、これからよろしくお願いします。

令和二年

七十五期生新入生代表 清水里花

村本さん、清水さん、お二人の、素晴らしい挨拶をありがとうございます！

文武二道の精神をしっかりと受け継いでほしいと思います。私たちは、新入生の皆さんを歓迎します。このような高い意識を持つ皆さんとこれから一緒に高校生活を送れることが、上級生一同とても楽しみです。

石神井高校は、一年生の皆さんの期待に応えられる高校です。努力の場が多くあり、自分を高め合える環境が整っています。あとは皆さん次第です。皆さんに秘められたポテンシャルをどこまで伸ばせるかは、自分自身の『成長したい』という意欲が大切です。石神井高校で、努力を惜しまず、スピーチにもありましたが、友人と切磋琢磨しながら、各々十分に成長していただく。そして、学校生活や勉強などに不安があったら、上級生や先生方に遠慮なく打ち明けてください。僕たちは皆さんに寄り添い、共に励んでいきましょう。

部活動紹介について

今年が残念ながらコロナウイルスの影響で、部活動紹介が大幅に縮小されたこともあり、紹介の文言を聞いてもよくわからないという生徒も多かったと思います。通例の紹介ならば、たくさん

の凝ったパフォーマンスや実演などが楽しめずはたはずです。



しかしこのような事態となり、それが全てなくなってしまうことは、上級生一同、いつものような素晴らしい石神井の紹介ができず残念であり、申し訳なく思っています。

石神井の部活動の魅力を十分に表すことができず申し訳ないが、「あの部活に入りたことなく実際に体験してみてください。私たちと一緒に成長していきましょう。先輩たちが待っています！

(生徒会長・茂木駿明)

